

## 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動紹介

### 「優しさ繋げる」

「民生委員は繋ぐ仕事。優しささえあれば大丈夫です。」私を民生委員に推してくださった方のこの言葉が、今、実感として蘇っています。民生委員を引き受けたものの、地域福祉活動の経験の皆無な私に務まるものかと悶々としていたころ、自分の地域で住民が不安に苛まれるような問題が生じました。住民だけではとても解決できませんでしたので、地域の担当民生委員に相談して、市に音頭を取っていただき、支援会議が開かれました。

会議の後、私がその問題の方の様子を保健所にメールでお伝えすることになりましたが、市や保健所の動きが見えなく不安になったため、民児協の会長や副会長、包括支援センターに相談していく中で『繋がる・つなげる』仕組みを理解できるようになりました。たくさん話し合う中で、地域住民の優しさも知りました。問題の方を排除するのではなく、その方を含めた全員が幸せになるには、という『優しい発想』がこの難題を解決に向かわせつつあるのではないかと思います。

鶴嶺西地区 民生委員・児童委員 国井 美樹子

### 「自身の経験を地域の為に」

私が民生委員・児童委員を引き受けた理由は「地域への恩返し」です。

私の具合が悪く子供たちを連れて病院へ行った時、そこにいらした地域の方が子ども達を見ていて下さりとても安心した事を覚えています。日常的にもよく声を掛けていただきました。そんな日々の生活の中で地域での声掛けがとても有難く、大切だと感じました。委員になってからは、高齢者を対象にしたサロンを毎月行っています。食事をしながら会話を楽しみ、身体を動かし、歌を歌い、和やかな時間を過ごして頂けるよう心掛けています。

これからの抱負は「地域のつながり」を探す人の為のお手伝いをすることです。松林地区には明るくて頼もしい先輩委員さんがたくさんいらっしゃいます。安心して民生委員活動が出来る環境を嬉しく思います。

松林地区 民生委員・児童委員 長谷川 いづみ

### 「主任児童委員になって思うこと」

主任児童委員となって半年、研修や学びの機会を得ながら地域の方と共に活動をしています。

世の中には子どもに関わる悲しい報道が絶えることはありません。けれど、赤ちゃん訪問や地域の活動を通じて思うことは、子ども達や子育て中のお母さん、お父さんを「ひとりにしない」と多くの方が積極的に関わってくれている、ということです。

浜須賀地区においても、「赤ちゃんサポート」や「サロンはますか」といった乳幼児が参加しやすい活動と共に、子どもに関わる活動が活発になっています。家族同士はもちろんですが、ご近所の方、学校、各地域団体など多くの人や団体が応援していることを、子育て中のご家族に実感してもらえるようにお手伝いをする、それが主任児童委員の役割なのかな…と感じています。

浜須賀地区 主任児童委員 堤 優子

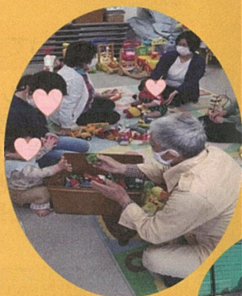
### 民生委員・児童委員 主任児童委員の活動



高齢者宅訪問



高齢者交流会



子どもと高齢者の  
異世代交流会



子ども通学路の見守り



赤ちゃんサポート

### 「聞き上手に徹して」

当初は3年の任期を長いと感じていましたが、目標を決めました。

1年目は訪問を中心に、顔を覚えてもらう。2年目は実態調査を機会にお困りごとの解決に結びつける。そして3年目は信頼関係を築き、どんなことでも相談してもらえる人になる。

現在4期目ですが担当区域が3度変わり、新任のように活動してきました。現在は井戸端会議に参加することもしばしばあります。

これまでに介護申請や、近隣トラブル、空き家問題、ごみ問題等沢山の相談がありました。一人で解決できないことは、担当区域の垣根を越えて先輩民生委員、自治会、行政の皆様の力を借りながら活動してきました。又、地域サロンの開催が、民生委員同士のチームワーク、市民とのふれあい、コミュニケーションの役割を果たしていると思います。今後も聞き上手に徹し活動していこうと思います。

湘北地区 民生委員・児童委員 田中 京子

### 「明るい笑顔と元気な声」

私は、民生委員になって7年目です。さわやかな湘南の潮風をうけながら、担当地区の皆様の少しでもお役に立てる様、活動しています。私のモットーは「明るい笑顔と元気な声」です。訪問すると「いつも元気ね、若いわね」「貴女が来ると元気がもらえるのよ、うれしい----と」。「あら、私も後期高齢者よ、でも高ではなく幸せと書くの---(笑)」こうして楽しく会話が弾み、笑顔がいっぱい広がります。

日々の活動は独居の方を優先しゆっくり、じっくりとお話を聞くことに専念しています。民生委員のなり手不足が深刻な昨今ですが、今こうして活動させていただけることに感謝し、がんばって行きます。

海岸地区 民生委員・児童委員 亀山 孝子

### 「民生委員活動で感じたこと」

90歳単身女性を時々訪問します。「今度選挙があるでしょ。投票所まで遠くて。地域を回る投票車がないから。一度も棄権したことがないけど、今回は行かれないわ。」と残念そうでした。

女性との会話が気にかかりましたが幸い期日前投票所が近くにあったので、「私も期日前投票へ行くので一緒に行きませんか。」と声をかけました。「こんな所に期日前投票所があったのね。ここなら近いから行かれるわ。」と翌日一緒に投票へ出かけました。投票所で担当者にお辞儀をし、心を込めて投票しているようでした。「今まで棄権したことがなかったからよかったわ。連れてきてくれてありがとう。」

「ありがとう。」素敵な言葉だなと感じた瞬間でした。しかし、「ありがとう。」は私が女性に伝えるべき言葉でした。女性が真摯に投票する姿を見て、一票の重みや社会への参加の大事さを学んだのですから。

茅ヶ崎地区 民生委員・児童委員 中島 麻紀